

【出版記念展示会】

わたしたちをつなぐもの Between Us

建築展アーカイブ 1957 - 2025

1961年建築学科の創設 / 写真提供：新井 薫

トークイベント

建築展の建築家

5.11(月)
19:00-

戸室太一
(1981年建築展)

加藤詞史
(1986年建築展)

山田宮土理
(2006年建築展)

佐藤敬
(2008年建築展)

協賛

清水建設 熊谷組/前田建設/特設計
オリエンタルコンサルタンツグループ/AL/ YKK AP 建築資料研究社
三菱地所設計/佐藤総合計画/共同カイテック

【出版記念展示会】

わたしたちをつなぐもの Between Us

建築展アーカイブ 1957 - 2025

1957年以前から続けられてきた「早稲田大学建築展」は、学生たちが自らの手で問いを立て、現実の条件と格闘しながら空間を試行してきた実験の場でした。

本展では、書籍「1/1 スケールの実験場 早稲田建築展アーカイブ 1957-2025」の出版を記念し、これまでの建築展に残された資料と、建築展という場をつくってきた人々たちへのインタビューを手がかりに、その歩みをたどります。

時代ごとに異なる学生たちの思考や熱量は、言葉や写真、記録のなかに残されています。それらを見つめ直すことは、いまここにいる私たちが何を受け取り、どこへ向かうのかを考えることでもあります。

建築展をつくってきた人、見てきた人、建築展を経て社会で実践を行う人、そして、これから関わっていく学生たち。——そのあいだにあるものを、もう一度見つめるための展示です。

建築展アーカイブプロジェクトとは

「建築展」は、70年以上前から続く学生有志団体であり、学内でのパビリオン展示や講演会の企画などを行ってきました。建築展アーカイブプロジェクトは、「建築展」の歩みを振り返り、記録し、書籍として出版する活動です。2024年より調査を始め、展示会「建築展の建築家」の開催から、この度書籍として記録集を出版するに至りました。

本書では、キャンパスにつくられた原寸大の Monument や時代ごとの展示、講演の記録とそれらを振り返る OB・OG のインタビューや論考を収録し、「建築展」が学生たちにとってどのような場であり、どのような経験を生み出してきたのかをたどります。約70年にわたる記録をいまの視点から読み直すことで、「建築展」という場が持っていた広がりや、その経験が現在へどのようにつながっているのかを見つめます。

書籍について

「1/1スケールの実験場 早稲田建築展アーカイブ1957～2025」

巻頭言：高口洋人

【1】建築展のリアル——活動記録と当時の学生たちインタビュー
大内 政男 / 福谷正典 / 増沢幸寿 / 山田茂夫 / 吉村憲 / 峰谷俊雄 / 田村直久 / 新井 肇 / 池増由之 / 戸室 太一 / 加藤詞史 / 関口威人 / 梅沢篤 / 光嶋裕介 / 山田宮土理 / 平山健太 / 津島英征 / 真木友哉 / 銅銀一真 / 平林航一 / 永井嶋馬 / 関根敬介

【2】建築展とは——1/1スケールの実験場を通してシンポジウム：座二郎 / 佐藤敬 / 斎藤信吾
論考：吉江俊
特別インタビュー：古谷誠章

発行日：2026年4月15日
編著：建築展アーカイブ編集委員会（浜島寧宏・浜名秀聡・工藤陽・中山陽南子）
協力：早稲田大学稲門建築会
編集協力：灰谷香奈子
デザイン：倉品美沙

発行所：株式会社建築資料研究社
ISBN978-4-86834-060-7
定価：¥1,800+税



トークイベント

建築展の建築家

5.11(月) 19:00 - 20:30 @55号館イノベーションラボ

「建築展」で活動し、現在は建築家として実践を続ける異なる世代の4名を迎えます。それぞれの時代の「建築展」で何が試みられ、その経験が現在の活動へどのようにつながっているのか。世代を超えた対話から、「建築展」という場が持っていた広がりを見つめます。

戸室太一
(1981年建築展)

1961年東京都生まれ。1965年建築学科卒業。レンジ・ピアノ、アルヴァロ・シザ、谷口吉生らのもとで多くの大規模な設計に携わったのち、戸室太一建築設計室主宰。現在は保育園や寺院建築などを手がける。

加藤詞史
(1986年建築展)

岐阜県生まれ。1989年建築学科卒業、91年修士課程修了。池原義郎研究室。1991～2003年池原義郎 建築設計事務所を経て、2006年より加藤建築設計事務所主宰。早稲田大学芸術学校客員講師、理工学術院創造理工学部助教などを経て、現在、早稲田大学総合研究機構客員上級研究員および芝浦工業大学非常勤講師。

山田宮土理
(2006年建築展)

1985年神奈川県生まれ。2008年建築学科卒業。2014年奥石直幸研究室博士後期課程修了。近畿大学建築学部助教など歴任後、現在早稲田大学理工学術院准教授。土や左官の建築、土着小屋の調査、自然素材を用いた循環型建築の研究に取り組み。

佐藤敬
(2008年建築展)

創造理工学研究科建築学専攻修士課程（石山修武研究室）修了。石上純也建築設計事務所を経て2019年KASAを設立（アレクサンドラ・コヴァレヴァと共同主宰）。2023年より横浜国立大学。2024年より早稲田大学、2025年より東京藝術大学、非常勤講師。2026年より横浜国立大学助教。

特別展示会

5.22(金) 10:00 - 20:00 @新52号館4階ラーニングコモンズ前通路

稲門建築会・春の大会に併せて本展示を特別に、新しく完成した52号館の4階にて開催します。「建築展」はこれまで、学内のさまざまな場所で活動を展開してきました。その歴史を振り返る展示をキャンパスに新しく完成した空間で行うことは、これからの「建築展」や学生主体の文化活動が新たな場所へ踏み出し、いくつ契機になると考えています。1日限りの特別な展示をどうぞご覧ください。

開催概要

会場：5.11(月) - 5.21(木) 9:00 - 20:00 ※日曜日休館
会期：早稲田大学西早稲田キャンパス55号館アトリウム

主催：浜島寧宏・浜名秀聡
協賛：清水建設 / 熊谷組 / 前田建設 / 特設計 / オリエンタルコンサルタンツグループ / VL YKK AP / 建築資料研究社 / 三菱地所設計 / 佐藤総合計画 / 共同カイテック

フライヤーデザイン：浜名秀聡
お問い合わせ：kenchikuten.archive@gmail.com

会期
5.11(月)

5.21(木)
※日曜日休館

会場
早稲田大学 西早稲田キャンパス55号館アトリウム